

- (1) 実際例の問題の選定と標準化を行なう
 (2) 中小企業体に対して、経営上の問題点をアンケート調査する
 である。

なお、研究メンバーの中途参加も大歓迎である。筆者 (Tel. 0474-75-2111 千葉工大) か笠原二郎 (0482-95-3000) に申しこまれたい。参加費無料。
 (主査 卜部舜一)



中部支部

1. 47年度下期活動状況

◎保守および取替の問題を特集テーマとして取り扱った。従来、研究会の形態はお話しを聞くといった形が大半をしめていたが、このテーマから会員のおおのこの職場での“ナマ”の問題（未解決でもよい）を出しあい「皆で討論し考えよう」という型をとってみた。

○ヘリコプターの保守作業における保守用機能部品の最適保有量について

村田 秀雄 (川崎重工)

○航空機の保守取替および修理工場の問題

中村 淳一 (三菱重工)

○電力システムの信頼度計算の一例

田中 庸平 (中部電力)

○踏切遮断桿折損の原因究明と、その対策

福島照晃 (名古屋鉄道)

◎新しい試みとして、「47年を回顧し48年の抱負を語る」という課題で新春座談会を行ない、各会員に、その記録を支部ノートとして配布した。

◎支部恒例の秋季ハイキングを鈴鹿地区東海自然歩道で開催した (参加者17名)。

2. 48年度活動状況および計画

◎新しい企画として、支部研究発表会を3月10日 (土) に開催した。午前中を学生の発表 (7件) に当て、午後は一般実務家の研究発表 (6件) を行ない、そのあとで親睦会を開いた。参加者は60名で盛況であった。この研究発表会では、学生側と一般実

務家側の発表内容が、理論編と応用編といったぐあいにはっきり分かれたことが非常に印象的であった。

◎ソ連のパハーニア教授を招き、「無限次元関数空間の測度」というテーマで講演会を開催した。

職位: Professor of Tbilisi State University.

Dean of Department of Cybernetics and Applied Math., Head of the chain of stochastic processes.

◎支部春季ハイキングを瀬戸岩屋堂東海自然歩道で開催した (参加者21名)。

◎合宿勉強会を計画

中部支部でははじめての試みとして、10月25、26、27日の3日間の予定で合宿勉強会を行なう予定である。

◎その他の活動内容 (研究会テーマ)

○物的生産性の指標

吉野 玄一 (東海電気通信)

○バスレーンの実施結果等について

宮崎 正 (愛知県警本部)

○Chance-constrained Programming

清水 栄吉 (南山大学)

○ジョブショップのためのスケジューリングシミュレータについて

秋葉 博 (神戸商科大学)

3. 支部役員の変更

支部幹事の真鍋竜太郎氏が神戸商科大学へ転任されたので、その後任として日比野康文氏を幹事とした。
 (岩田記)